

猪之鼻奨学会

編集発行者
公益財団法人
猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号
〒260-8670 千葉大学医学部内
電話 043-226-2509 内線5024

創 立 1915年(大正4年)

猪之鼻奨学会報 第18号 題字 井出源四郎(第八代千葉大学学長)

気持ちも新たに

— ますますのご声援を —

監事・医学研究院 教授 瀧口正樹

この3月に猪之鼻奨学会の事務室は、竣工後間もない新しい同窓会館に引越しました。場所は医学部玄関を出て右手直ぐ図書館の横で、薬学部にも近くなりました。白を基調とした建物の明るい窓には緑があふれ、ますますの発展を予感させてくれます。ゐのはな同窓会、千葉医学会と事務室を共有しており3会の協働にも好都合ですし、薬学部の関連団体との連携を深める契機にもなってくれると思います。新会館には100人収容の多目的ホール、学生の合宿にも使える和室の談話室5部屋も備わっております。亥鼻キャンパスにお越しの折は是非お立ち寄り下さい。

時あたかも、昨年、本会は念願の公益財団法人化を実現させました。これに向けての、歴代の会長、事務方を初めとする皆様方のご献身、ご努力には頭の下がる思いです。おかげ様をもちまして、ここに、ソフト・ハード両面で本会の躍進の基盤が整いました。昨年2013年度には、従来千葉大学構成員に加え、初めて県内の他施設の

若手研究者にも研究助成金を贈呈することができました。今後、千葉県を中心とする地域、社会に対する猪之鼻奨学会ならびに千葉大学の貢献がますます認知、評価されるものと思えます。

大正天皇の即位を記念して創設された本会は99年に及ぶ月日を数え、学事奨励に力を入れて、かつては亥鼻の校地購入に尽力するなど、千葉大学やその前身に多大な貢献をして参りました。しかし、戦争による混乱を経て、今日も、公益財団法人化されて日も浅いこともあり、本会の財政基盤は未だ脆弱であると言わざるを得ません。本会は、学部学生への奨学金給付と医学・薬学の若手研究者への研究助成という社会貢献に徹しており、こうした活動は言うまでもなく、皆様方からのご寄附によって支えられております。ご存知かと思いますが、公益財団法人化された本会は税制優遇措置の対象となり、ご寄附頂いた場合、税額控除も受けられます。皆様方のますますのご理解、ご支援を切にお願い申し上げます。

グローバル化推進

— 亥鼻でできること、すべきこと —

評議員・薬学研究院長 教授 高山廣光

今年の冬は気候温和な千葉でもとりわけ厳しい寒さと大雪に翻弄されましたが、ここ亥鼻山も例年のごとく満開の桜で華やきそして瞬く間に新年度を迎えました。季節は一樣に巡ってまいりますが、国立大学はと言いますが、法人化以降、厳しい冬の環境下に置かれたままと言つて過言ではありませぬ。昨年終わりに文部科学省が策定した「国立大学改革プラン」によりまして、われわれ国立大学は、社会の変革を担う人材の育成やイノベーションの創出といった役割を果たすために機能強化・組織改革に早急に取り組んでいくことが強く求められていま

す。これに対応すべく、亥鼻キャンパスの医療系3学部(医学・薬学・看護学)と大病院は一致団結し、次世代対応型医療人育成のための新しい教育研究組織を準備しています。薬学研究院もこれに連携して、講座の再編を計画しています。この中の目玉は国際創薬科学研究分野の新設で、これにより外国人教員(教授、准教授などの新規採用)による講義と研究指導、さらには国際共同研究へと展開することで、グローバルに活躍できる若手人材の育成を目指しています。加えて、海外協定校とのダブルディグリー制もスタートします。大学院生や若手研究者の皆さんには、これらの取り組みを利用して、できるだけ早い段階に海外で研究する経験を積んでいただき、グローバル的視野を身につけたいに飛躍していただくことを期待しています。一方で、亥鼻地区のグローバル化推進にとって欠かせないのは、外国人教員や留学生受け入れのための宿泊施設の確保(設置)と滞在中に不自由無く生活していただくための環境整備でしょう。このためには様々な立場の方のご理解と、長期にわたる経済的なサポートが欠かせません。亥鼻グローバル化と若い研究者の挑戦への支援活動を進めるに当たり、同窓の皆様のご理解とお力添えは何よりも心強いものがございます。猪之鼻奨学会へのこれまでも増してのご支援を心よりお願い申し上げます。

ご寄付のお願いと寄付金の税額免除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学事業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究事績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40%を上限として、ご寄付金額から2千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年度事業報告

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

1. 事業の状況

(1) 研究助成金(150万円)の助成 内訳 各30万円 5件

交付研究者	所属	研究領域	研究題目
田中 健史	千葉大学大学院 医学研究院	分子腫瘍学	大腸側方発育型腫瘍 (lateral spreading tumor: LST) から示唆しうる腫瘍発育形態に関与するマイクロRNAおよびそのターゲット遺伝子の同定
古谷 丈雄	千葉大学附属病院	整形外科	老化に伴う脊髄脆弱性・易損性の分子病態解明
木下 崇	千葉大学大学院 医学研究院	耳鼻咽喉科	癌転移モデルマウスを用いた癌転移抑制型マイクロRNAの抗腫瘍効果の解析
川崎 広明	順天堂大学院 医学研究院	環境医学	14-3-3タンパク質の酸化ストレス依存性機能障害による神経疾患病態形成機構の解明
東 恭平	千葉大学大学院 薬学研究院	生物系薬学	天然物由来新規コンドロイチン硫酸の構造決定及び免疫調節機構の解明

(2) 奨学金の貸与 なし

(3) 薬草園の整備管理 10万円

(4) 猪之鼻奨学会会報の発行 17,000部発行

収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考	科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部					II. 支出の部				
1. 基本財産運用収入					1. 事業費				
基本財産利息収入	530,000	504,000	△ 26,000		研究の助成				
事業収入	100,000	360,000	260,000	奨学金返還金	(1) 研究補助金	1,500,000	1,500,000	0	
2. 寄付金収入					奨学貸費金	300,000	0	300,000	
寄付金収入	1,500,000	3,696,500	2,196,500		事業費合計	1,800,000	1,500,000	300,000	
3. 雑収入					2. 管理費				
受取利息	10,000	16,527	6,527		(1) 給料	700,000	658,045	41,955	
雑収入	0	0	0		(2) 旅費・交通費	20,000	118,310	△ 98,310	理事、評議員、 通勤手当
4. 基金収入					(3) 手当・謝金	50,000	50,000	0	選考委員
特定預金取崩し収入	1,500,000	0	1,500,000		(4) 事務備品費	10,000	132,485	△ 122,485	パソコン
当期収入合計(A)	3,640,000	4,577,027	3,937,027		(5) 消耗品費	10,000	17,258	△ 7,258	
前期繰越収支差額	200,000	1,147,774	947,774		(6) 印刷費	190,000	177,350	12,650	
収入合計(B)	3,840,000	5,724,801	1,884,801		(7) 光熱水料	0	0	0	
					(8) 賃借料	27,000	29,695	△ 2,695	
					(9) 通信運搬費	18,000	82,720	△ 64,720	無線LAN
					(10) 会議費	15,000	14,584	416	
					(11) 記念品費	0	3,150	△ 3,150	
					(12) 薬草園整備費	100,000	100,000	0	
					(13) 雑費	120,000	350,566	△ 230,566	
					(14) ホームページ関連費	80,000	42,000	38,000	
					(15) 租税公課	0	9,750	△ 9,750	
					管理費合計	1,340,000	1,785,913	△ 445,913	
					3. 基本財産引当国債支出	0	0	0	
					4. 研究助成基金預金支出	0	0	0	
					5. 予備費	100,000		100,000	新公益法人対 応費
					当期支出合計(C)	3,240,000	3,285,913	△ 45,913	
					当期収支差額(A)-(C)	0	1,286,938	△ 1,286,938	
					次期繰越収支差額D-(C)	740,000	2,434,712	△ 1,694,712	

薬草園の売却につきましては次号にてご報告申し上げます。

公益財団法人

猪之鼻奨学会募金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位 殿

平素より財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましましては、多くの方々のご深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成25年度に実施されました募金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄付いただきました金員は、猪鼻奨学会の事業費として有効に活用させていただきましたと思っております。お蔭様を持ちまして平成25年度における助成件数は5件で、総額150万円により研究助成金を交付することができました。

今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

募金件数 八十八件

募金総額 三、六九六、五〇〇円

平成二十六年五月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会
理事・評議員一同

高額寄付者御芳名録 (平成25年度)

今津 嘩	香取市
獅子原 正 樹	東京都
花輪 孝 雄	山梨県
服部 孝 道	(医) 同和会理事長
ゐのはな同窓会	
小屋 佐久次	前橋市
橋本 英 明	東京都
千葉大学薬友会	千葉市
布施 吉 弘	千葉市

七夕の会	薬学部昭和53年 卒業生有志
社会福祉法人清和会	船橋市
山下 克 子	神奈川県
山本 恵 司	千葉市
堀江 武 子	千葉市
佐藤 弘 子	東京都
軍司 祥 雄	四街道市

氏名	県・市
小野寺 美津雄	神奈川県
根本 幸 一	群馬県
市川 智 彦	千葉市
有賀 直 文	佐倉市
松村 芙美子	飯田市
余田 佳 子	松戸市
檜垣 有 徳	東京都
福島 通 夫	東京都
加来 俊 貞	千葉市
田所 重 紀	茂原市
三枝 富美代	富津市
秋葉 哲 生	山武市
島崎 淳	千葉市
徳重 克 彦	四街道市
櫻井 直	神奈川県
奥田 桂 子	千葉市
古川 斎	千葉市
永瀬 治 彦	東京都
渡邊 良 彦	静岡県
長 晃 平	東京都
島田 哲 男	四街道市

氏名	県・市
津村 澄 雄	船橋市
水鳥川 俊 夫	茂原市
古木 新	香取市
藤本 重 義	神奈川県
山本 日出樹	愛媛県
細井 湧 一	船橋市
滝口 裕 一	船橋市
大隅 信 幸	神奈川県
二村 静 子	静岡県
玉井 輝 章	埼玉県
櫻井 由 子	東京都
千葉 胤 道	千葉市
嶋田 俊 恒	千葉市
菊池 義 公	所沢市
岩倉 弘 毅	東京都
矢田 洋 三	袖ヶ浦市
吉原 寛	広島県
中村 和 郎	千葉市
山倉 喜 八	茂原市
栃木 直 文	東京都
長谷川 二 郎	東京都

氏名	県・市
石川 達 雄	千葉市
小杉 秀 雄	東京都
林 雅 意	千葉市
石下 峻一郎	埼玉県
中田 正 子	京都府
嶋田 俊 恒	千葉市
渡辺 和 夫	千葉市
久田 俊和・恵子	長野県
西原 尚 史	府中市
中村 寛 子	福岡県
下条 直 樹	千葉市
木村 敦 史	千葉市
姫野 雄 司	千葉市
鈴木 重 紀	市原市
山本 和 夫	習志野市
山脇豊・美智子	福島県
野口 眞 利	東京都
山田 善 重	千葉市
小林 弘 忠	習志野市
藤田 昌 宏	千葉市
安田 敏 子	千葉市
佐藤 敏 子	東京都
砂田 莊 一	千葉市
片倉 透	銚子市
真鍋 溥	成田市
田中 直 子	北杜市
佐藤 昌 子	東京都
小熊 英 夫	東京都
平山 恵 子	茨城県
加藤 幸 雄	埼玉県

平成二十六年三月三十一日現在
総合計 三、六九六、五〇〇円

猪之鼻奨学会の歴史資料

平成26年2月27日に奨学会事務局は、新のはな同窓会館の新社務所に引越しを致しました。その際、本奨学会の長い歴史の証となる貴重な資料も移動することとなりました。その一部をご紹介します。

謹奉賀 天長節

大正十四年十月三十一日

千葉醫科専長 松本高三郎

諸君今本校へ入学の上、明治二十三年十月三十日教育ニ関

シ下賜ニスル

勅語、銘心服膺スヘキ、勿論

左、五項ヲ遵守シテ善美ナル

校風ヲ發揚スルコトニ勗メラルベシ

第一智徳ヲ淬礪シ、身体ヲ健

全シシ立身報國ノ基ヲ建

ツヘキト

第二校則ヲ守リ師長ノ教ニ學

支リ親愛スヘキト

第三信義禮讓ヲ重シ公徳ヲ

養フヘキト

第四志操ヲ固クシ言行一致ヲ期

スヘキト

第五常ニ威儀ヲ正シ廉耻ヲ

勵ムヘキト

右ハ生徒心得ノ骨子ニシテ此他

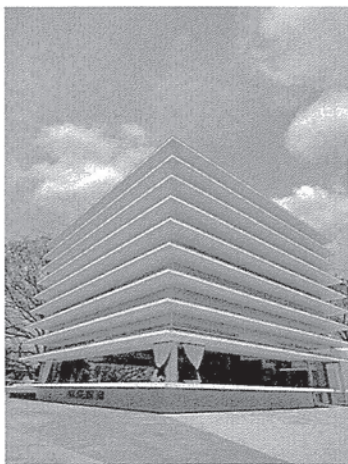
總ニ心得ニ條件ハ規則ニ在リ

備、常ニ熟覽シ苟モ本校生

徒ニシテ本分ニ背クヤランコトヲ期

セラルヘシ

《新のはな同窓会館に事務所移転しました》



・JR千葉駅、京成千葉駅到着後、JR千葉駅東口正面7番のバス乗り場から「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに乗車、「千葉大医学部入口」で下車。医学部附属病院へは、同バス「千葉大学病院」で下車。共に約15分。

編集後記

猪之鼻奨学会事務局は、新のはな同窓会館の新社務所に今年の2月末に移転を無事終えました。新社務所は、新同窓会館の裏手に位置し、全面に大きく張られた事務室のガラス窓越しに、亥鼻山裏手の眺望と共に満開の桜と緑を満喫することが出来ます。

平成25年度は、公益財団法人化後の事務対応、葉草園売却、事務室移転と慌ただしい1年でしたが、開放的な新社務室で気持ちも新たに新年度を迎えることができました。

公益財団法人化後2年目の平成25年度の募金額は、平成24年度の募金額から30%増となったものの、募金件数は10%減となっており、引き続き多くの方々からの本奨学会への更なる御理解が望まれる状況です。今年度も、皆様の本会への益々の御支援をお願い申し上げます。

2014年(平成26年)

4月吉日

(猪之鼻奨学会 常務理事

白澤 浩)

